

不祥事根絶のための行動計画

三次市立青河小学校

令和6年 4月 1日

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

私たちは、不祥事の根絶に向けた
あらゆる努力を惜しまず、

- ㊦ 安心・安全で
- ㊧ お互いを見守る
- ㊨ 学校をつくります。

1 本校の課題

- ① 演習等も取り入れ、計画的な研修ができていますが、現状課題を踏まえ、必要感と意識変革を図ることのできる研修を仕組む。
- ② 日頃より、お互いを見守り合い、声かけや気づき、本音等が出しやすい職場の雰囲気がある。しかし、本校では不祥事が生起しないであろうという安心感がどこかにあり、さらに危機感をもった教職員集団にしていく必要がある。

2 行動目標

- (1) 計画的・継続的な研修を行い、不祥事根絶に向けた教職員の意識の向上と実践力を高める。
- (2) 教職員どうしのコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進める。

3 具体的な取組

- ① ロールプレイングや小グループ協議、具体的な事実に基づく研修等、研修内容と研修方法の改善を図る。
- ② 日常的に、教職員相互の言動に気を配り、不祥事につながる不適切な言動にはその都度指摘し合い、受け入れ合えるような職場の風土をつくる。
- ③ 互いの仕事の進捗状況を把握し、特定の者に負担がかからないようにサポートしていく。
- ④ 日頃から児童の変化を敏感に受けとめ、交流と対応に努めるとともに、定期的にアンケートを実施し、実態把握を行う。課題が生じた場合は早急に対応にあたる。また、「体罰、セクシュアル・ハラスメント、いじめ、相談窓口」「障害者差別相談窓口」のさらなる周知を行い、保護者・地域からも相談を受けやすい体制と環境を整える。